

OBSラジオセンターから出演

南九州税理士会大分県連合会(北迫秀文会長)が、税理士業務を広く一般の方にも知っていただくことを目的に、確定申告時期に合わせて放送している、『教えて税理士さん(OBSラジオ)』の収録が1月に行われました。



OBSのスタジオにて

昨年引き続き、当センターの上尾センター長が出演。別府市きよすえ税理士事務所、清水敬弘税理士、OBSの平山沙絵アナウンサーの3人で収録されました。OBSラジオスタッフが守る中、ぎっくばらんにお話が繰り広げられました。タイトル「教えて税理士さん」の通り、センターが相談を受け税理士さんが対応している内容や、各地で実施した事業承継個別相談会で税務に関する相談内容で多く寄せられた案件や注意点など、質問にお答えするインタビュー形式で和やかに進められました。番組は3月5日に放送済ですが、

OBSの公式YouTubeチャンネルでも見ることが出来ます。

事業承継対策シート発刊

センターでは、事業承継時において課題が多い内容について、解決ヒントを個別にまとめた事業承継対策シートを作成しています。

第1弾は「認知症対策編」、第2弾は「個人事業の事業承継編」でした。

今回は多くの後継者から疑問点として寄せられている「決算書の見方が良くわからない」というリクエストにお答えする形で、平岡祐一朗税理士に、第3弾「数字から見る課題発見編」というタイトルで執筆していただきました。第4弾としては「円満な廃業編」というタイトルで当センター職員が執筆しました。どちらも2月に印刷が終了して、各商工団体等にすでに配布済みです。ご覧いただき参考にしてください。

【概要】

第3弾の「数字から見る課題発見編」では、決算書の目的、構成、損益計算書・貸借対照表、キャッシュフロー計算書のポイントなどを経営者目線でわかりやすく記載されています。第4弾では、安心して事

生活関係の事業譲渡手続き

事業承継Q&A

質問 旅館やクリーニング、理美容関係の事業承継の手続きが簡素化されたと聞きましたが？

回答 昨年8月に旅館業法施行規則等の一部を改正する省令が交付されました。そして、令和5年12月13日から手続きが簡素化されました。改正されたのは、「旅館業(旅館業法)」、「食品衛生法に基づく営業(食品衛生法)」、「理容所の営業(理容師

法)」、「興行場の営業(興行場法)」、「浴場業(公衆浴場法)」、「クリーニング所又は無店舗取次店の営業(クリーニング業法)」、「美容所の営業(美容師法)」、「食鳥処理業(食鳥処理の事業及び食鳥検査に関する法律)です。

従来は事業を譲渡する際(親子間も含めて)に、譲渡人が①保健所に廃業届を提出して、その後、譲渡人が②許可申請・手数料支払いを行い、保健所から③申請審査・許可という手続きでした。

渡をしたのちに、①事業承継届出を保健所に「遅滞なく」提出するという方法に代わりました。実質は大変簡便になっています。ただし、旅館業についてはあらかじめ保健所に相談する必要があります。センターでも、理美容業の親子間での承継に関するご相談も多くありましたが、今後は手続きが非常に簡単で早く済むようになっていきます。詳細はお近くの保健所にお尋ねください。



業をたたむためにという副題で「円満な廃業編」を作成しました。事業承継を支援する機関が廃業編を作成するには違和感があるかもしれないませんが、親族内にも第三者にも承継する後継者がなく、やむを得ず事業をたたまないといけなくなる場合の注意点などを細かく記載しました。廃業するにも大きな資金が必要です。また、従業員の今後の対策や借入金返済の対応など、準備しなければいけないことなどを記載しています。

ご興味のある方は、お近くの商工会・商工会議所や当センターにこのパンフレットを置いてありますので参考にしてください。センターのホームページにおいてもデータの閲覧が可能となっております。

借ロタリークラブで研修



ロータリークラブは、国際的な非営利団体で、地域の経営者や士業の方が集まり、奉仕活動を通じて社会貢献を目的とする団体です。1月24日に佐伯市ホテル金水苑で開催された佐伯ロータリークラブの例会で、当センターの上尾センター長が「事業承継について」と題して1時間ほど講演しました。30名ほどの会員の皆さんに、事業承継の現状、特に大分県は後継者不在率が全国7位であることや、中小企業においても第三者承継が盛んに行われており、地域企業の存続も支援している内容の話をし

ました。当日はセンターから3名の職員も同行して、講演後の個別相談にも対応しました。個別相談では、「会社の業績を伸ばしていくためのM&Aの方法」や「後継者がいないので今後の対応」についての相談などがあり、今後支援を実施していきます。

商工会青年部でも

県内17商工会青年部で構成される大分県商工会青年部連合会。その研修会が1月24日に豊後大野市三重町のホテル「ますの井」で開催されました。商工会青年部の皆さんの中には、これから事業を引



今号のオススメ本

令和ニッポン 「事業承継」大全 プレジデント社

2025年の「大廃業時代」が目の前に迫り、継がせる側の覚悟についての記事や「ワコール」の塚本会長のインタビュー。星野リゾートの星野社長による事業承継の教科書の記事。出口別シミュレーションと題して、「世襲」「従業員承継」「M&A」「廃業」についての記事など興味深い内容満載の雑誌です。



編集後記

今号では、恥ずかしながら4枚も私の写真を出してしまいました。個人的には親族内承継支援の国の施策として平成30年から始まった「プッシュ型事業承継支援」、令和3年度から親族内支援と第三者支援が統合してスタートした「大分県事業承継・引継ぎ支援センター」など合計6年間にわたってお世話になりました。当承継新聞も編集長として24号まで発行することができました。長い間ありがとうございました。(上)